

(令和6年度補正分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 福岡県北九州市
本事業の担当部局名 総務市民局女性の輝く社会推進室

事業メニュー		結婚_妊娠・出産_子育てに温かい社会づくり・気運醸成事業						
区分		重点メニュー						
関連事業メニュー		3.2.3 育児休業取得と家事・育児分担の促進						
個別事業名		パパ育児ファーストステップ応援奨励金				新規／継続 (一般財源での実施も含む)	新規	
実施期間		令和7年4月1日		～	令和8年3月31日		事業開始年度	令和7年度
総事業費(A)(円)		11,999,640		寄付金その他の収入予定額(B)(円)	0		差引額(A-B)(円)	11,999,640
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額		1,999,640						
費用内訳(円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費	
	総事業費	0	0	108,000	0	3,840	250,800	
	対象経費支出予定額	0	0	108,000	0	3,840	250,800	
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	区分	委託料	使用料及び賃借料	備品購入費	負担金	補助金	計	
	総事業費	1,619,000	18,000	0	0	10,000,000	11,999,640	
	対象経費支出予定額	1,619,000	18,000	0	0	0	1,999,640	
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	10,000,000	10,000,000	
	○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。						
自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け		<自治体における少子化対策の全体像>※全事業共通 北九州市では「元気発進！子どもプラン(第3次計画)」に基づき、乳児から若者、子育て世代など幅広い施策を展開している。また、上記プランが令和6年度で終了することから、令和7～11年度までの新たな「北九州市こどもプラン」を策定中である。 少子化の背景は様々あるが、経済的不安定さや出会いの機会の減少、仕事と子育ての両立の難しさ、子育ての孤立感や負担感、子育てや教育にかかる費用負担など、個々人の結婚・妊娠・出産、子育ての希望の実現を阻む様々な要因が複雑に絡み合っていると考えられる。 <本個別事業の位置付け> ・男性の育児休業取得が難しい中小企業を対象に市独自の奨励金を助成することで、初の男性育児取得のきっかけづくりを後押しする。 ・奨励金と併せて、男性育児取得推進に取り組む企業・団体等の表彰や、男性向け研修会(パパスイッチ研修)を開催する。						

個別事業の内容

番号	項目	内容
1	男性の育児休業取得 応援奨励金の実施	【対象外経費】 ■事業概要 ・初めて男性育休取得のあった中小企業の情報を収集 ・男性育休を広めるために上記情報を市内企業に向けて広報 ・上記広報に協力してくれる企業へ奨励金を支給 ■情報収集 ・奨励金申請書に、初の男性育休取得のために工夫した事や苦労した点等を記載してもらう ・好事例があれば、申請書受領後に追加でインタビューを行う ■広報 ○手段：市HPや北九州イクボス同盟加盟企業等の各種メルマガ、市公式各種SNS ○内容：初の男性育休取得のために工夫した事や苦労した点等、初の男性育休取得に役立つ情報※好事例については写真付きのインタビュー記事等により紹介 ■費用 1社あたり20万円を支給。広報協力に加え、補助要員の採用にかかる費用としても使用可 ■補助事業を実施する事情 ・2024年の本市の社会動態のマイナス幅は、女性が男性の2倍以上 ・その要因として、家庭生活における男女平等達成感が全国平均の1/2以下、また男女差が大きいことが考えられる。(R4市民意識調査) ・男性自身は育児参加希望が上昇傾向(R4調査：育休取得希望80.1%、H29調査73.1%から7P増)だが、育児は女性、男性は仕事というアンコンシャスバイアスが全国平均より高く、実際の取得状況(36%)は希望と乖離。特に、従業員数が少ない中小企業での取得は難しいと思われる。 ■少子化の一因と本市の対策 ①結婚数の減少(0人→1人にならない要因)→未来の家庭を築く男女の育成事業 ②第一子育児における女性の負担感大(1人→2、3人にならない要因)→パパ育休ファーストステップ応援奨励金 ■補助事業で実施する理由 全企業数の99%を占めるとされる中小企業において男性育休取得が進まない要因として、「人手不足」が挙げられる。この「人手不足」に対する支援として、初めて男性育休取得のあった中小企業に奨励金を支給することで、市内の中小企業における男性育休取得率を増加させるとともに、従業員数が少ない中小企業でも男性が育休を取得できるという社会気運の醸成に繋げたい。また、奨励金の支給後も当事業における情報提供・広報などに協力することとし、行政主体の取組だけでなく、官民連携で実施することにより、子育てに温かい社会づくり・気運醸成としてより高い効果が期待できると考える。
2	男性育休取得推進に 取り組む企業・団体等 の表彰	男性育休取得推進に取り組む企業・団体等を表彰するとともに、その取り組みについて広く企業や市民に情報提供することで、市全体の男性育休取得推進を図るもの。
3	男性向け研修会(パ パスイッチ研修)の開 催	育休取得者(男性、父親)が、「とるだけ育休」とならないよう、家事・育児に対する意識改革を目的に、研修を開催するもの。

少子化対策全体の重要 業績評価指標(KPI)及び 定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	合計特殊出生率		%	1.8を見据え政令市1位	1.4(R5年度)
	子育てしやすいまちと感じる市民(子育て世代)の割合		%	90%以上	88.9(R5年度)

参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			1.4(R5年)	
	婚姻件数		件	3,614(R5年)	
	婚姻率			3.9(R5年)	

個別事業の重要業績評 価指標(KPI)及び定量的 成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
	(アウトプット)				
	①	男性育休取得推進企業・団体等表彰数	社・団体等	4	-
	②	パパスイッチ研修参加者数	人	20	-
	③				
	④				
	⑤				
	(アウトカム)				
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	---	---
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	---	---
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	---	---
	④	パパスイッチ研修事業に対する満足度	%	90	-
	⑤	パパスイッチ研修参加者のうち、結婚、妊娠・出産、子育てに対して前向きになったと感じた人の割合	%	90	-
	⑥				
	⑦				
	⑧				